

新校舎建設マスタープランについて

1 概要

新校舎建設マスタープランは、けやき台小学校と若葉小学校の統合に伴い、けやき台小学校の跡地に建設する新校舎の基本構想となるものである。学校づくりの基本理念や配置案などを決めるもので、策定支援業者による支援の下、平成 28 年度中に策定する。新校舎建設マスタープランに基づき、平成 29 年度に基本設計を平成 30 年度に実施設計を行う。新校舎建設については、平成 30 年度末に工事を開始し、平成 33 年 3 月に完成する。

2 検討状況

新校舎建設マスタープランを検討するため、学識者や地域団体等が推薦する方、公募市民、対象校の校長、副校長らで構成する新校舎建設マスタープラン検討委員会（以下、「検討委員会」という。）を平成 28 年 8 月に発足し（平成 28 年 12 月までに計 6 回開催）、新校舎に関する基本方針や配置等を検討してきた。また、両校の児童及び保護者、若葉町地域の自治会長を対象に実施したアンケート、学校ヒアリング、両校の保護者を対象に実施したワークショップを通して、保護者、児童、地域、教職員に意見聴取を行った。

3 説明会の開催

今後、新校舎建設マスタープラン素案について、下記のとおり地域説明会を開催する。あわせて通学路の安全対策等についても説明する。説明会で参加者からいただいた意見等を参考に、今後検討委員会を 3 回開催し、平成 29 年 3 月に新校舎建設マスタープランを策定する。

1) 日程等

日程	時間	会場
1 月 27 日（金）	午後 7 時～9 時	けやき台小学校視聴覚室
1 月 28 日（土）	午前 10 時～正午	若葉小学校家庭科室

2) 内容

- ① 全体概要
- ② 新校舎建設マスタープラン素案模型を用いて説明、アンケート等結果報告
- ③ 通学路の安全対策、新学校の校名、校歌の選定方法
- ④ 学校統合に向けた交流事業など
- ⑤ 質疑応答

4 新校舎建設マスタープラン素案

1) 学校づくりの理念

「共に学び 共に育つ 学校づくり」とした。けやき台小学校・若葉小学校の2校を統合し新たな学校を設立すること、共に学びあうことの楽しさ、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育の推進を背景とした学校づくりの理念を実現するため、「学ぶ楽しさ教える喜びが実感できる学校づくり」「思う存分体を動かし様々な体験ができる学校づくり」「明日また行きたくなる楽しい学校づくり」「地域をつなぎ未来を拓く学校づくり」をコンセプトとした。

学校づくりの理念と4つのコンセプト



2) 新校舎の建設方針について

■学ぶ楽しさ、教える喜びが実感できる学校づくり（学習環境について）

- ・教室数は各学年3クラスとし、児童数が増えることを想定し、多目的教室を複数設ける。
- ・普通教室は自然採光、自然通風に配慮する。
- ・教室廻りに収納スペースを充実させる。
- ・特別支援学級については、若葉小の現状のスペースを踏まえた設えとする。
- ・教職員の動線等に配慮し、働く環境を整える。
- ・表現する力を身につける教育をサポートする発表の場の空間づくりを行う。
- ・外国語活動が充実できる空間づくりを行う。

■思う存分体を動かし様々な体験ができる学校づくり（屋外学習環境について）

- ・校庭は、現在の若葉小（7,300㎡）、けやき台小（5,800㎡）より広い面積を確保する。
- ・校舎は、広い校庭を確保しつつ、建物全体の面積を踏まえ、4階建とする。
- ・プールは、敷地の有効利用の観点から、建物屋上に設けることとする。
- ・学級菜園や農作業ができるスペースを設ける。
- ・地域の利用も踏まえ野球、サッカーができる寸法・設えとする。

■明日また行きたくなる楽しい学校づくり（生活空間・安心安全について）

- ・トイレは全て洋式とする。
- ・普通教室、特別教室、管理諸室等には空調機を設置する。
- ・学年を超えた交流空間を設ける。
- ・防音性に配慮した教室等の配置を行なう。
- ・校舎北側の道路から通学する児童の安全を確保する。
- ・校舎全体に目の行き届く空間づくりを行なう。
- ・駐車場の出入口は児童の出入口と離して設ける。

■地域をつなぎ未来を拓く学校づくり（複合施設・地域連携・防災拠点について）

- ・学童保育所は、学校と複合化する。学童保育所の定員は90名とする。
- ・学校を支援する地域の方々が集える空間を設ける。
- ・防災拠点となる施設づくりを行う。耐震安全性を高めた施設とする。
- ・備蓄倉庫を体育館と連携した位置に配置する。

■その他

- ・1,2学年は35人学級、3～6学年は40人学級とする。
- ・給食は共同調理場からの配食方式とする。
- ・バリアフリーな校舎としてEV・多目的便所を設置する。
- ・駐車場は車椅子用、給食搬入、備品搬入用の駐車場を設ける。
- ・両校の記録を残すための展示等のスペースを設ける。
- ・環境を考慮した設備を設ける。
- ・ランニングコストを配慮した施設とする。

3) 配置案



5 現時点での諸室配置案

—別紙のとおり—